

守りたいのは、いのち **NGO SHARE Free Paper** [シェアライフ]

SHARE LIFE



Vol.

10

知ろう!聞こう!健康格差

～Let's try! 在日外国人ワークショップ～

日本人の「当たり前」は在日外国人の「当たり前」ではありません。

紙面を通じて体験してください。身近で起きている「健康格差」。

SHARE LIFE
contentsシェーちゃん＆アーちゃんのちょこっと豆知識 / 私のSHARE LIFE /
take action! ～シェアではじまる、あなたの社会貢献～ / みんなのVoice便 / シェアとは

言葉と時間の問題があります。
言葉を理解・言葉で説明できない
ため、きちんと治療を受けられませ
ん。体の何が問題なのか、理解が
難しいです。
また、限られた時間に治療するの
も困難です。
(インド・ネパール料理
カナピナ@上野)

病院にかかる
勇気がなかった

医療費が
心配

タイ語スクール@飯田船

異国の地で、
からだのこと、健康のことで、
困ったことは何ですか?

ベジキッテン

ちょっとした病気の時は、アーユルヴェーダ(漢方
薬)で治療します。重い病気の時だけ病院に行か
ないといけなくなります。
(インド料理 ベジキッテン@御徒町)

子供が病気で
苦しんでいる

Thailand

Kenya

煩雑な
保険の手続き

America

XIN HAY GIUP
DO NHUNG NGUOI CO
HOAN CANH KHO CUC

困っている人がいたら助けてく
ださい。
(ベトナム料理
リトルサイゴンキッチン@上野)

シェアは、世界中の人々がもっと健康な生活をおくれる社会を目指して、アジアで活動する保健医療専門のNGOです。

Vol.09

シェーちゃん&アーちゃんの
ちょこっと豆知識



→税額等に応じて算出した額を徴収することを国庫補助の基準としています。これをふまえて各都道府県等が具体的な徴収基準を定めています。

この制度を利用することで、**金銭的な負担が少なくなり、治療が可能**になります。

また、国際条約である**子供の権利条約**は**親の国籍や属性によって児童の権利が制限されてはならない**としています。

クリスティーナ・ジャスパンに解決策はあるのか？

産まれたばかりの我が子が集中治療室に入ったクリスティーナ、事故で負傷したジャスパン。

医療費が払えず苦悩する二人に道は開けるのでしょうか。

クリスティーナ

我が子が集中治療室に入り、膨大な医療費を支払えない彼女。日本には未熟児の医療に、金銭的な援助をする制度があります。それは、「**養育医療制度**」です。この制度は、**母子保健法第20条における養育医療の給付**について、出生児の体重が2000グラム以下である等の状態にあり、医師が入院養育を必要と認めた場合には、当該未熟児の治療に必要な医療費の給付を行うこととなっています。この場合における当該児童の扶養義務者からの費用徴収については、「母子保健衛生費の国庫負担及び国庫補助について」に掲げる徴収基準額表に基づき、当該児童の属する世帯の所得

ジャスパン

事故により負傷してしまっただが、派遣会社も工場も市役所も、健康保険に入れてくれない日系人の彼。日本において、事業主は被用者を**健康保険に入れる義務**があります。日系人の場合、安定したピザがあるのに事業主の不適切な対応で健康保険に入れない場合が多く問題となりました。しかし、事業主が健康保険に加入させてくれないという**証明を役所に提出**することで、**国民健康保険への加入に道が開けます**。

*シェアでは、外国人医療のノウハウをまとめたハンドブックを無料で配付しています。シェア事務局までお問い合わせをお願いします。



2010年より、シェアでネパール語とヒンディー語の医療通訳のボランティア(東京都外国人結核患者治療・服薬支援員)をしています。私はネパール人で、夫が日本人。日本国籍を持つ子どももたちに、自国のことを知ってほしいという思いから、13年前に日本にやってきました。以前から「人の役に立つ仕事がいい」と思っていました。だんだん子どもが大きくなり、手が離れてきたので何かできないかと探していたときに、偶然出会ったのがシェアでのボランティアだったんです。月3〜4回ほど活動していて、結核に感染している疑いがある方の検査や結核の治療を受けている方の診察に同席して、通訳を行います。不安がっている患者さんが安心したり、保健師や医師に「通訳さんがいてくれたよかった」と言われることが一番のやりがいです。通訳には相手が話した言葉を正確に訳すことが求められますが、患者さんがとった非言語的なコミュニケーションを説明したほうがよいのだらうかと悩むことがあります。そんなときは終了後にシェアに電話で報告や相談をしたり、年に2回行われる通訳の研修会で、ほかのボランティアさんと話し合ったりしていますね。感染症という面では不安を感じることがありますが、今は楽しくボランティアを行っています。(取材:高柳ユミ)

患者・保健医療者をつなぐ
医療通訳ボランティア

マラ・スミタ・マンジャリ



私のSHARE LIFE

Vol.09



私の健康法

じつとしないことです。考えるよりも動くタイプで、落ち込むことがあっても、別のことをしてすぐに発散しています。家では常に掃除をして、ホコリひとつないですよ。運動も「今年は1年泳ぐ」「1年ジムに通う」「1年歩く」と決めて実行します。常に前向きでいることが、健康の秘訣ですね。

take action! ~シェアではじまる、あなたの社会貢献~

在日外国人の人生ゲームを開催



病気になっても健康保険がないから病院に行けない、言葉の不自由さから受診が遅れる。こうした問題が外国人の間では頻繁に起きています。言葉と医療費の障害をどのように乗り越えていくのか。外国人の来日、日本での生活・健康、彼らの医療の課題解決について探る「在日外国人の人生ゲーム」ワークショップを開催・体験してみませんか？講師の沢田貴志(シェア副代表、医師)が皆さまのもとにお伺いいたします。

出張講座「いのちと健康を考える」約3時間
<http://share.or.jp/share/join/study/lectures.html>



外国人の健康相談会ボランティア



高度な医療サービスが整った日本。でも、その一方で医療サービスにアクセスすることが困難な人々がいま。シェアは、健康のことで困っている在日外国人のための無料出張健康相談会を開催しています。相談会には、ボランティアとして医師や看護師、学生、社会人が参加しています。関心がある方はシェア事務局まで連絡をお願いいたします。

ボランティア募集中心! 登録はこちらから

<http://share.or.jp/share/join/volunteer/form.html>



寄付で応援!



東京オリンピックで「おもてなし」が話題になっていますね。日本にきた外国人が安心して日本で暮らしていくために「健康」を保障することは大切ですが、残念ながらその環境はまだ十分に整ってはいません。医療サービスを受けることが困難な外国人の健康を守るために、ご寄付をお願いいたします。

クレジット決済の場合

ホームページよりお手続きください。
<http://share.or.jp/share/donate/>

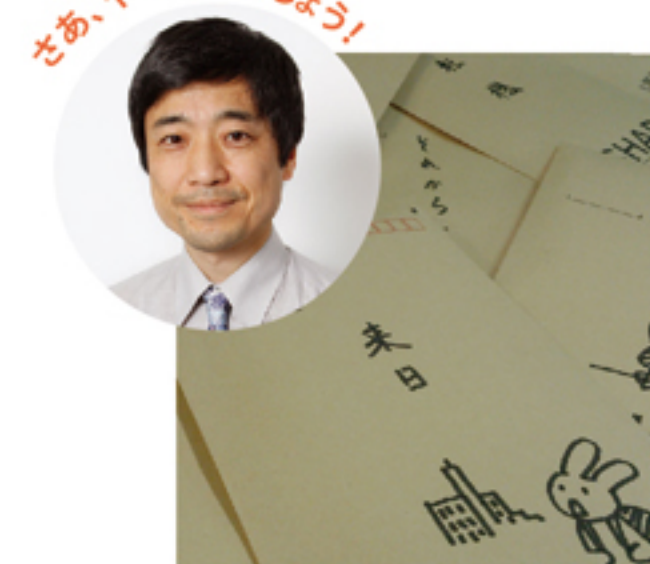
郵便振替の場合

口座番号: 00100-1-132730

口座名: 特定非営利活動法人シェア国際保健協力市民の会

*シェアは認定NPO法人です。シェアへのご寄付は寄付金控除の対象となります。

さあ、やってみましょう!



「在日外国人」と言っても、その境遇は様々。日本の制度に守られた私たちには想像もできない局面が多々あります。その現状への理解を広めるために、シェアは、「封筒」と「紙」で進める一風変わった人生ゲームのワークショップを展開。今号では、私たちシェアライフ編集ボランティアがこのワークショップを体験し、紙面でその模様をお伝えします。

このワークショップを開発したシェアの沢田副代表(医師)は、長年在日外国人の健康支援に従事。現在は、在日タイ大使館の医療アドバイザーとしてタイの人々をサポートしています。

5

体調の変化を語る・・・切実な問題で医療機関との関わりが必要に。その理由に触れ、語ります。感情移入はMAXに。

<体調の変化>

クリスティーナ 同郷の男性と交際3カ月で妊娠。二人で育てると誓うが、妊娠7カ月の早産。子どもは3カ月集中治療室に。医療費は1,000万円以上・・・(¥-1,067万円以上)

ジャスパン 事故の翌朝、派遣会社の通訳に「息が苦しい」と伝える。レントゲンで折れた肋骨で肺に傷がつき、出血で肺が押しつぶされていることが発覚。総合病院に転院。健康保険に加入していないと治療は200万円。工場も人材派遣会社も保険に入ってくれない・・・(¥-212万円??)

がーん!
外国人は、健康保険に入れないの???



ええっ!
集中治療室ってそんなにかるの???

6

解決策を考える・・・ワークショップ最大のポイント。二人一組で解決策を考えます。

<私たちが出した解決策>

クリスティーナ

・男性の両親にお金の相談をする
・大使館に連絡する
・国際機関に相談する

ジャスパン

・弁護士に相談する
・労働組合に相談する
・シェアのようなNGOを探す

7

解決策を学ぶ・・・沢田副代表から、現実的な解決策を学んでこのワークショップは終了です。

⇒解決策は、「ちょこっと豆知識」を読んでみよう!



* 終了→感想 *

・意外な局面で多額の借金が発生することに驚き、同時に日本人がいかに医療面で守られているかわかりました。救いだったのは、年々状況が改善していることです。

・6名の人生を辿ってみて、「人身売買」が現実になっていることに驚愕しました。大切なのは、さまざまな制度を、必要な方へ届ける環境づくりだと思いました。
・ただただ驚きの連続でした。知ることの大切さを知るワークショップでした。



知ろう!聞こう!健康格差

Let's try! 在日外国人ワークショップ

ワークショップスタート

実話を基に、6名の「アセアン共和国」の人物が登場

わくわく!

役割を決める・・・登場人物6名のどの人生を体験するか役割を決めます。

私は、クリスティーナ

私は、ジャスパン

1

2

自己紹介・・・封筒から紙を取り出し、自分の与えられた人生を黙読。本人になりきって自己紹介をします。

<プロフィール>

クリスティーナ 18歳女性 幼いころに両親が離婚。叔母の家で育つ。2年前に従姉が日本人と結婚。家計に余裕ができ看護学校入学が決定。(¥所持金0円)

嬉しい様子が目に浮かぶなあ

ジャスパン 25歳男性 鉾山近郊の山間部農家に生まれる。祖父は日本人だが戦争中に行方不明に。鉾山閉鎖後は貧しい地域で小学校しか出ていない。(¥所持金0円)

そうか、小学校しか行けなかったのか・・・

3

来日理由を語る・・・転機/来日の封筒を開け、来日理由を知り、本人になりきって語ります。

<転機/来日>

クリスティーナ マタニティブルーの従妹へのサポートで心臓病の叔母の代わりに来日。子どもは身体が弱く従姉は不安。夫も仕事で宿泊が多く、夫妻に感謝され小遣いをもらう。(¥+2万円)

せっかく学校に入れたのに・・・

ジャスパン 人材派遣会社の人から日系人の証明ができれば日本で働けると言われ、父親の戸籍謄本を片手に来日。携帯電話の部品工場では毎日10時間。生活費と相殺で手取り約5万円。派遣会社に諸経費を2万円ずつ返済し、残った3万円は母親の医療費として仕送り。(¥-28万円(渡航費))

毎日10時間働いても手取り5万円かぁ・・・

4

日本でのその後の生活を語る・・・封筒を開け、その後の生活を知り、語ります。

<その後>

クリスティーナ 母国の叔母の心臓病が悪化。手術は100万円。返済を約束し、従姉の夫に消費者金融での工面を依頼。ビザが切れる3カ月が過ぎても工場に働くことに。

ビザが切れるなんて心配

ジャスパン 母親への仕送りを継続。借金返済のめどが立った頃、自転車で転倒。腕と肋骨を骨折。言葉の壁で症状を伝えられず。(¥-12万円)

きちんと治療しないと後が大変だよ・・・

みんなのVoice 便

シェアを支える皆さまからのひとことコーナー。
今回は、シェアライフvol.9「カンボジアのお母さん特集」で実施した読者アンケートの中から、皆さまの声をお届けします。

「カンボジアのお母さん特集」 ご覧になっていかがでしたか?

- ☑ お母さんの笑顔がとても素敵でした。こんな風にのびやかに子育てをしていらっしゃる姿を拝見し、大変なことはたくさんあるけど、子ども達が生まれてきてくれたことの嬉しさを思い出しました。私の子ども達にもこんな時代があったんですね。素敵な時間を共有させていただいて、ありがとうございます。
- ☑ 自分が社会人になってみると、いろいろなことがあって、いつも笑顔でいるのは、意外に難しいと思います。子どもの頃、母親がいつも身近で笑顔でいてくれる安心感が当たり前のように感じられていましたが、実は、とても偉大なことだったのではないかな、と思うこの頃です。



アンケートへのご協力
ありがとうございました。
プレゼントは、当選者に
郵送いたしました。



あなたのお母様は、どんな方ですか?

- ☑ 私の母は、気丈ですが、心もろい面もある人です。今でこそ「女性も働く時代」ですが、母は一貫して「女は家庭に入るもの」、専業主婦として家庭を守り、家事や育児をこなしてきました。そんな母も年齢と共に段々心もろくなってきましたが、母の「縁の下」の努力のおかげで今の私や家族があります。
- ☑ 最近は特に母さんに感謝することがたくさんあります。今年から大学生活が始まった私は不安でいっぱいでした。勉強も大変で、休む暇もなく、ボロボロでした。家事もろくに手伝えず、そんな私をお母さんは励ましてくれて、いつものように助けてくれました。私のお母さんは世界一です。
- ☑ いまはひとり暮らしですが、いままで毎日お弁当を作ってくれたり、夕飯を作ってくれたりしたこと、ありがたいと感じています。



ご自身のお母様に一言お願いします。

- ☑ 母へ。。
口うるさくて、喧嘩もしょっちゅうだけど、本当は…有難う、感謝しています。
- ☑ いつもありがとう。これからも、もっともっと元気でいてくださいね。
- ☑ しょっちゅう「鬱陶しい」とか思ってしまうけど、尊敬してます!
- ☑ 来月は誕生日なので、少し早いですが…
お母さん、お誕生日おめでとう。これからも、最高のお母さんでいてください。お母さん、大好き。

身近な存在である「お母さん」に焦点をあてた前回号。カンボジアのお母さんの喜怒哀楽を、同じ母や子の目線で共感することができたのではないのでしょうか。この共感が国境を越え、大きな支援の波となって、カンボジアのお母さんたちのもとに届くことをシェアは願っています。

みんなのVoice便では、読者の皆さまからのご意見を募集しております。メール等でお気軽にお寄せください。

シェアとは

シェアは、保健・医療を中心とした国際協力活動を行っている民間団体（NGO）です。1983年に設立され、現在はタイ・カンボジア・東ティモールに看護師などのスタッフを派遣し、地域の人々と協力して健康を守る活動を進めています。国内では、外国人のための出張健康相談会やタイ語でのエイズ電話相談などにも取り組んでいます。医療関係者だけでなく、学生・主婦・会社員など多くの方が参加しています。

いのちに国境はない。だから、活動に国境はない。

シェアは、健康で平和な世界を全ての人とのわちあう（シェア）ために活動している、国際保健NGO（民間団体）です。現在、タイ・カンボジア・東ティモールに海外拠点を構え、現地の人たちと共に活動をしています。
カンボジアでは、子どもの健康増進プロジェクトが進行中。乳幼児健診や離乳食教室を定期的に開催し、妊産婦や乳幼児の環境改善に努めています。2002年に独立を迎えた若い国、東ティモール。人口の半分以上が19歳以下のこの国で、学校の先生や保健委員会の子どもたちと一緒に小学校で保健教育

プロジェクトを行っています。
タイでは、1994年よりエイズ問題に取り組んでいます。HIV陽性者自助グループ対象の月例会や予防啓発キャンペーンなど、地域に根ざした活動を進めています。長年の現地スタッフ育成が実り、2012年、シェアタイ事務所は、HEALTH AND SHARE FOUNDATION (HSF) として現地財団法人化へ。エイズプロジェクトを進めるパートナーとして、シェアは、今後もHSFと共に歩んでいきます。シェアの国内外の活動は、HP、ブログ、Facebook、Twitterで紹介しております。ぜひご覧ください。



祝10号!!

編集
後記



私がシェアに関わり出したのは2年ほど前に事務所を訪れてからでした。福岡に住んでおり、シェアライフを九州に広めるべく、配架のお手伝いをしております。九州で置いても良いよというところがあれば、伺いますのでお問合せください(わら)

編集
メンバー



〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル5F
TEL 03-5807-7581 FAX 03-3837-2151
E-mail info@share.or.jp URL http://share.or.jp/
facebook share.or.jp Twitter @NGO_SHARE

SHARE LIFE volume 010 2015年10月発行
発行人 本田 徹
編集 SHARE LIFE 編集委員会
発行所 (認定) 特定非営利活動法人
シェア=国際保健協力市民の会 (SHARE)
印刷 ベーテルフォト印刷株式会社

※シェアではSHARE LIFEを設置していただける施設・店舗を募集しております。お問い合わせは、メール、お電話にてご連絡よろしくお願いいたします。

※SHARE LIFEの編集ボランティアを募集しています。デザインが得意な方、ライター・編集経験がある方、カフェや店舗など配布先開拓が得意な方etc.お待ちしております。ご連絡はinfo@share.or.jpまで。

SHARE
すべての人に健康を! NGOシェア